

山元町の財政状況

1 予算規模

一般会計の予算規模は、東日本大震災以前は約50億円でしたが、震災からの復興・再生のため、ピーク時には約10倍の規模まで膨らみましたが、昨年度末に町内3ヶ所の新市街地整備工事が完了する等、復興は一つの区切りを迎えたことから、平成30年度当初予算は、2倍の規模である約103億円になっています。

医療保険や介護保険などの特別会計予算については、震災前は約35億円程度でしたが、震災による影響により、医療費や介護サービス費等が一時的に増加しましたが、その後、被保険者数が減少していることなどの影響により、概ね横ばいで推移しています。

水道事業と下水道事業の公営企業会計予算については、東日本大震災以前は、約16億円でしたが、一般会計と同様、復興・再生事業のため、一時は予算規模が大きく増加していましたが、平成27年度を境に減少に転じ、平成30年度当初予算は、同程度の規模である約18億円になっています。

【予算の推移】

(単位：億円)

		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
一般会計	当初予算	51	221	397	561	201	303	214	134	103
	(復興予算)	-	(165)	(348)	(509)	(136)	(248)	(155)	(74)	(46)
	決算	55	250	716	486	251	320	272	184	-
特別会計 (医療・介護)	当初予算	35	38	34	34	34	36	35	36	35
	決算	33	35	37	34	33	35	34	35	-
公営企業会計 (上下水道)	当初予算	16	26	21	33	27	28	19	20	18
	決算	19	19	39	32	30	28	37	16	-
合計	当初予算	102	285	452	628	262	367	268	190	156
	決算	107	304	792	552	314	383	343	235	-

※H30年度の予算額については、骨格予算となります。

2 税収の推移（一般会計）

町民のみなさんから納めていただいている町税の収入は、震災直後は、人口減少による町県民税の減少などの影響により、大幅に落ち込みましたが、東日本大震災に係る町民税の雑損失の繰越控除や固定資産税の軽減措置等が減少したことに加え、太陽光発電設備の設置等による償却資産の増加もあいまって、昨年度に引き続き堅調に回復しています。

【税収の推移】

（単位：億円）

		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
一般会計	当初予算	13	7	9	9	10	10	10	11	12
	決算	13	9	9	11	11	11	12	12	-

3 町債の推移

町の借金に当たる町債の残高は、平成29年度決算から増加に転じております。これは、新庁舎建設事業や防災行政無線の更新事業等、各種復興事業の財源として町債の発行が増加したことに加え、新たに過疎地域に認定されたことによる各種過疎対策事業に要する町債を発行したほか、台風21号の災害復旧に関する町債発行も重なったことから残高が増加しています。

【町債の推移】

（単位：億円）

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
一般会計町債残高	57	54	52	53	53	56	58	64
公営企業会計町債残高	75	72	69	66	63	59	56	53
合計	132	126	121	119	116	115	114	117

※特別会計については、町債の発行はありません。

4 財政調整基金の推移

町の貯金に当たる財政調整基金については、復興・再生事業に関する国や県からの補助金により一時的に増加しておりますが、各種復興事業の完了により、今後、段階的に実績清算が行われることから、大幅に減少することが見込まれます。

【財政調整基金の推移】

（単位：億円）

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
一般会計基金残高	11	16	27	54	71	69 (34)	70 (41)	83 (48)
特別会計基金残高	4	5	4	3	5	6	5	5
合計	15	21	31	57	76	75	75	88

※（ ）の数字については、一般会計の財政調整基金のうち、復興財源の返還見込額等を除いた、町の裁量で自由に使えるお金（真水）に当たる分です。

※公営企業会計については、基金の積立はありません。